

起業論・アントレプレナーシップ講座

8月21日(月)・22日(火)に、全科学年の生徒(希望者)を対象に、佐々木敦斗氏(東京大学を卒業し、朝日新聞の記者、リクルート社員を経て教材開発会社を起業)を迎えて、「起業論・アントレプレナーシップ講座」を実施いたしました。

アントレプレナーシップ(起業家精神)を学ぶことは、現代社会における重要なテーマです。

1日目は、オリエンテーションと起業家ケーススタディ、2名の起業家(株式会社デジロウ 池田公也氏、株式会社 SETUPJAPAN 代表 佐山輝氏)をお迎えしての講話。「起業家として成功するカギは小さなことの積み重ねが大切。そして、まず行動することの必要性」についてお話をいただきました。その後、参加生徒たちは、グループに分かれて起業プランを考えるワークショップを実施しました。



2日目は、グループごとにビジネスプランを作成し、Google スライドを使って発表会を行いました。上記2名の起業家(株式会社デジロウ 池田公也氏、株式会社 SETUPJAPAN 代表 佐山輝氏)、と足利銀行から行員2名をお招きして講評をいただきました。「折り畳み電動キックボードを活用した運転代行」のビジネスプランを発表したチームが最優秀賞に輝きました。審査員から、「すべてのチームが高校生ならではのビジネスプランであり、非常に興味深いものがありました。この経験を今後の勉強に生かしてほしい。」と、お話をいただきました。



参加した生徒からは「起業ということを知ることができてよかった。」「起業家の方々から色々なお話を聞くことができ、グループでのプレゼンテーションなど、今までにないとても貴重な経験ができ、とても楽しかった。」「起業のプランを考えるのは楽しかった。」「起業の話聞いて沢山の人の関わりやたくさんの経験が積み重ねで成り立つものだと言うことが分かった。」以上のような感想が聞かれ、将来考えるよいきっかけとなったようです。